

神奈川県内におけるアマサギとヒクイナの繁殖例

平 田 寛 重

Hiroshige HIRATA: Breeding Record of Cattle
Egret, *Bubulcus ibis* and Ruddy Crane, *Porzana*
fusca in Kanagawa Prefecture

はじめに

ここ数年、神奈川県内における鳥類の観察記録が充実し、「神奈川の鳥、1986-91」などをはじめとする刊行物にまとめられている。しかし、確実な繁殖記録については十分蓄積されているとは言えない。筆者は1992年の繁殖期に、従来県内での繁殖記録が少ない2種について確認ができたので報告する。

なお、アマサギの観察並びに写真撮影に便宜を図っていただいた向上高校の鴨下幸夫氏、並びにこの報告を執筆するにあたり御指導いただいた平塚市博物館の浜口哲一氏に感謝の意を申し上げる。

アマサギの繁殖

神奈川県内で繁殖するサギ類としては、過去の記録を含め、ヨシゴイ（平塚市博物館、1983）・ミゾゴイ（日本野鳥の会神奈川支部、1980）・ゴイサギ（同、1992）・ササゴイ（同、1992）・アマサギ？（同、1992、ただし具体的データが不明）・ダイサギ（同、1992）・コサギ（同、1992）・クロサギ（同、1992）の8種が記録されている。そのうちアマサギについては、確実な繁殖記録の報告がないので筆者の観察を報告する。なお、チュウサギ・アオサギについては、繁殖期の記録はあるが、繁殖については確実な報告例はなく、今後の動向を注目したい。またミゾゴイについては、1976年の記録（日本野鳥の会神奈川支部、1980）以降の報告はなく、県下での絶滅が危ぶまれる。

アマサギの繁殖が確認されたのは、伊勢原市高森の人家裏山のアズマネザサの藪の上部に形成されたサギ山で、200羽を越えるアマサギ・コサギ・ゴイサギのコロニーとなっている。筆者がアマサギの雛を観察・撮影したのは、1992年7月21日及び7月24日であるが、雛の確認をする以前から、ゴイサギやアマサギの巣材運びはコロニー周辺で観察していた。雛の識別には山

階鳥類研究所(1984)を参考とした。当地のコロニーでは、チュウサギも数羽見られ、今後の動向が注目される。

なお、このコロニーの調査は、私立向上高等学校生物部が行っていることを付記しておく。

ヒクイナの繁殖

神奈川県内の最近のヒクイナの繁殖については、確実な記録が乏しく、繁殖期の鳴き声及び求愛給餌・交尾が観察されている程度（日本野鳥の会神奈川支部1986）である。少し古い記録では、岩田晴夫氏によって鎌倉市での巣と卵の殻の記録（岩田、1975）が報告されている。

筆者は今回、ヒクイナのつがい及び雛の観察ならびに写真撮影の機会を得ることができたので報告する。

1992年9月20日、平塚市東豊田の水田において農道走行中に、路上でうろうろするヒクイナを発見し、車を停車させ、双眼鏡で観察した。観察を続けると、路上の手前と奥にそれぞれ1羽ずつの成鳥のヒクイナを確認した。また、路上をよちよち歩く真っ黒い雛を2羽確認した。奥の成鳥の近くには、イタチの姿も観察された。

その後、もう少し近づき、詳しく観察すると、3羽のヒナが道路脇の側溝に落ちているのを確認した。ヒクイナが路上をうろうろしているわけは、移動途中でヒナが側溝に落ち、移動先の水田と側溝の間を行ったり来たりしているためであることが推測できた。3羽のヒナは落ちた側溝から、声を発し、親を呼んでいた。親は、鳴きながら路上を行ったり来たりしていた。ヒナは、この段階でまとめて3羽確認したが、総数はもっと多いように思われた。

この観察は、道路の側溝が繁殖中の野鳥に与える影響を目のあたりにする機会でもあった。そのままの状



図1. サギ類の繁殖コロニー(1993.4.17 伊勢原市高森)



図2. アマサギのヒナ(1992.7.24 伊勢原市高森)



図3. ヒクイナの成鳥(1992.9.20 平塚市東豊田)



図4. 側溝に落ちたヒクイナの雛
(1992.9.20 平塚市 東豊田)

態が続けば、増水による水死、イタチ等による捕食などが十分に考えられる。今回の観察は、個体によっては側溝に落ち、這い出せないでそのまま死んでしまう可能性が高いことを示している。最近、「ハイダセル」等の小動物が這い出すことが可能な側溝の開発、利用が盛んになってきているが、本報告もこのような側溝の必要性に対し、一つのデータとなると思われる。

文 献

平塚市博物館, 1983. 平塚鳥類誌. 124 pp.
岩田晴夫, 1975. 鳥信ヒクイナ. 日本野鳥の会横浜支部報, (113): 3. 日本野鳥の会横浜支部

(現神奈川支部).

日本野鳥の会神奈川支部, 1980. 神奈川の野鳥. 288 pp. 有隣堂, 横浜.

日本野鳥の会神奈川支部, 1986. 神奈川の鳥1977-86. 218 pp.

日本野鳥の会神奈川支部, 1992. 神奈川の鳥1986-91. 440 pp.

山階鳥類研究所, 1984. 鳥類標識マニュアル(識別編) 1983年度版. 6 pp.

(日本野鳥の会神奈川支部)